

第 6 回リフレクション会議について(令和 6 年 9 月 11 日)

講師

- 一般社団法人 School Transformation Networking 代表理事 山口 裕也 先生

協議内容

- 現役高校生と語り合う「探究的な学び」について

内容

第 6 回の会合では、現在、iGEM Grand Tokyo で生命工学を研究し、国際的なコンテストにも出場する高校生の谷さんをゲストとして招き、「探究的な学び」の必要性やその充実を図るための教師の支援について協議を深めました。

谷さんは、幼少期から「生命」の存在に興味があり、図鑑や博物館などで「生命」について調べる機会が多かったそうです。

そんな谷さんの心に残っている授業について尋ねたところ、自分で育てた植物の観察や、小学校高学年で経験した個人探究の時間と保護者に向けた発表の時間を挙げてくれました。

谷さんは、好きなことに夢中になることを応援してくれたご家族や、興味のあることを探究する時間を設定してくれた当時の先生たちにとっても感謝をしているそうです。

自分の思いや考えを明確な言葉に変えながら堂々と話をする谷さんとの協議を通して、あらためて「子ども自らが学ぶ」ことの大切さを私たちも感じました。

参加した教員からも、「これまでは目標を教師が設定し、子どもに押し付けてしまっていたことがあったが、谷さんの話を聞き、子どもと一緒に目標を設定したり、活動を考えたりすることの大切さについて考えさせられた。」との意見がでました。

講師の山口先生からは、谷さんがご家族や教師からのサポートに恵まれたように、小さいころからの人との結びつきやかかわりが、探究的に学ぶ子どもの意欲を支えるという助言がありました。

